



きあらひらかわ

互いに認め、支えあう、男女（ひと）がきらめく平川市



第7号 平成23年3月15日発行



子どもたちと遊んでいますか？ 子どもたちのこの姿はこの瞬間だけです。（写真は「つがる弁カルタ大会」より）

日常の中に男女共同参画を考える出来事がたくさんあります

「男女共同参画社会」のために、とは言っても何から始めていいかわからない…。

男女共同参画社会を考える機会は、皆さんの日常の中にたくさんあります。一人ひとりがそれに気付くことが大切です。

平川市では、男女がお互いに協力し、家庭生活での役割を果たしながら、仕事や地域社会における活動を両立できるための環境づくりを目指しています。

「きあら (chiara)」はイタリア語で「光り輝くもの」「よろこびをもたらすもの」を意味します。平川市男女共同参画推進プランの基本理念である「互いに認め、支えあう、男女（ひと）がきらめく平川市」のとおり、輝く未来を見つめながら性別にかかわらず一人ひとりがお互いを認め、自分らしさを十分に生かせる平川市をめざしたいという願いを込めています。

日常の中にある男女共同参画

～日常の中の出来事、あなたはどのように思いますか？～

「あの旦那さん、奥さんの尻に敷かれてるみたい。」

毎週、妻がスーパーに行って、家族のために食料品を大量に買ってくる。いつも大荷物で大変そう。今日は荷物運びの手助けと一緒にスーパーに行くことにした。一緒に買い物をしていると、こんな声が聞こえてきた。妻の手助けにと思っただけなのに…

夫婦間の思いやり

男性が家事をすると「かかあ天下」「尻に敷かれている」などと言われることがあります。そこには「家事は女性がやること」という意識があるのでは？
お互いを思いやることが男女共同参画の始まりではないでしょうか。



「母は毎日家において、家事とおばあちゃんの介護で大変そう…」

農業を営む父は、農作業のない冬期間は、毎日自分の趣味のために出かけていくのです。

家事は女性の仕事？

男性は時間に余裕ができて、家事や介護を女性に任せっきりではありませんか？家事は家族にとって欠かせない仕事です。性別に関係なく協力し合うことが男女共同参画です。



「仕方ない、仕事だもの。」

子どもが生まれて、妻は毎日子育てに専念し、私はその分仕事に専念。でも、妻は毎日家において子どもの世話ばかり。だから、週末の休みぐらいいは、パパが子どもの世話をして、ママには気晴らしに出かけてもらおうと思っていた。そんな時、上司が「今度の週末は出勤してもらうぞ。」また休日出勤になった。週末の子どもの相手はおあずけ…

仕事優先の生活になっていませんか？

仕事は家計を支える大事なことです。家事・育児も生活に欠かせないものです。仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）もみんなの協力で実現したい男女共同参画の取り組みです。



育児・介護休業法が改正され、平成22年6月30日から施行されました

少子化対策の観点から、男女ともに子育て、介護をしながら働き続けることができる環境を整備するため、法律が改正されました。その概要を紹介します。

- 配偶者が専業主婦（夫）であっても育児休業を取得できる。
- 3歳までの子を養育する労働者について、短時間勤務制度（1日6時間）を設けることを義務化。
- 介護のための短期の休暇制度を創設する。など

男性、子どもにとっての男女共同参画

～男性や子どもにとって暮らしやすい社会～

女性のためだけではない男女共同参画

男女が平等に社会活動に参加し、協力し合う社会の実現のためには、当然、男性のための男女共同参画も必要です。男女共同参画は、女性のための取組みととられることが多かったように思います。その根底には、夫は外で仕事をし、妻は家庭で家事や子育てに専念するものという古くからの性別に対する考え方が一人ひとりの意識にまだ残っているためと思われる。

男性の家事・育児でワーク・ライフ・バランス

テレビなどで「イクメン」「カジダン」という言葉をよく耳にするようになりました。男性が積極的に家事・育児に取り組むことは女性にとってとても頼もしいことだと思います。

ただ、毎日夜遅くまで仕事という男性には、なかなか家事や子育てにかかわる時間が持てません。また、「夫は外で仕事」という意識も働いて、仕事ができない男はダメな人間などと自分を追い込んでしまうのです。

国内の自殺者が平成21年まで12年連続で毎年3万人を超えています。男性にとっても暮らしやすい社会にするためには、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）が必要になってくると思うのです。仕事と家庭生活、地域社会生活、これら生活のバランスが重要です。そういう意味では、「イクメン」「カジダン」のいる家庭は、仕事をもちながら積極的に家事育児をこなすバランスのとれた生活ができているのかもしれませんが。



男女共同参画川柳

家事育児 僕やりますが
プロポーズ

パパごはん ママより美味しい
内緒だよ

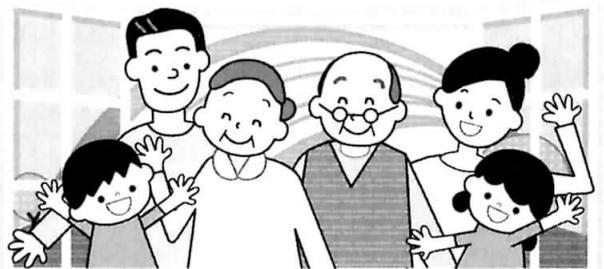
ボクもやる 将来きつと
カジダンに

「イクメン」「カジダン」とは？

育児に積極的な男性を「イクメン」、家事に積極的な男性を「カジダン」と呼んでいるようです。今でも女性が専念すべきという意識が残る家事育児について、積極的に取り組んでいる男性のことです。

次代を担う子ども達のために

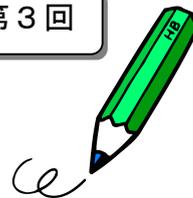
性別に関係なく、お互いに協力して社会生活や家庭生活を送れる大人になれるよう、子どもの頃から男女共同参画の視点に立った教育が必要です。例えば、家庭での食事の準備など家事の手伝いをするのは女の子と決めつけず、男の子に家事を手伝ってもらうことも男女共同参画のひとつです。



このコーナーは、いろんな方に、男女共同参画について日頃思っていることを何でも叫んでいただこうという企画です。

「ななだし わわだね」

ペンネーム ちづいまいこ



最近の気になる話題を7つ。

その1

Aさん宅に町会の集金に行った。Aさんの夫が言うには「今日は誰もいないので明日、集金に来て。」夫がいるのになぜ？

その2

息子が帰宅した。父親一人が留守番をしていた。息子が父親に言うには「誰もいないの？」父親がいるのですが…。

その3

スーパーで買い物をしていた娘が言うには、「おじさん達の位置取りが悪い。」なるほど、人の行く方向へ邪魔をする、通路をふさぐ、同じ所にしばらくいるので品物に手が届かない。お買い物デビューしたばかりなのか？

その4

女子会、女子力、女子ジャズ、理系女子が日本を救う、全てテレビから得たことばです。女子って言われると、年齢に関係なく若返った気がしないでもないが、なぜ今になって女子なの？女子ジャズって、何か作業をしながら気軽におしゃれに聞けるジャズのこらしいが、無理にネーミングしなくても、ねえ。

その5

NHKスタジオパークに出ていたLUNA SEA（ルナシー）の真矢が言うには、「家事は奥さんの選択に任せる。奥さんの言うがまま。基本的に手伝わないことがお手伝いです。」一人暮らしになった時はどうするのだろうか？ 余計なお世話ですが…。

卒婚ということばをご存じだろうか？卒婚とは、「夫の定年を機にそれまでの結婚生活からきっぱり卒業し、互いに役割に縛られず長い老後を生きよう」という考え方。卒婚は夫自身の危機管理術でもある。子に頼らずに暮らす高齢夫婦が増える中、妻に先立たれることがないとはいえない。ゆえに、身の回りのことが一人ですることができるということは、大事なことだ。（天地人より）

その6

新1年生にインタビューした。「お父さんのどんなところが好きですか？」A君が言うには「掃除と洗濯をしているところが好き。」お父さんが言うには「父親が料理などすると褒められますが、母親は褒められないのはどうして？」疑問はごもっとも。

その7

女優の高嶺秀子 86歳の生き方について（東奥日報より）。周りを気にせず自分の心に正直に規則正しく暮らす。そんなシンプルで清廉な生き方が、日本映画史上に残る大女優の求めた「自分である」ということだった。

孟子が言っています。「何と言われようと自分の正しいと思うことをまっとうすべきだ。」

数学者の森毅教授が言っています。「これから生き抜いていくのはヘンな人です。」

そういえば、津軽にはこんな言葉がありました。「な、なだし、わ、わだね。」あなたはあなた、私は私。オンリーワンの考え方と私は捉えたい。私たちの祖先って実は進んでいたのですね。ヘンな人＝個性のある人が大勢いると、世の中楽しくなりそうですね。悪い意味のヘンな人は困りますが…。



○あなたの「男女共同参画川柳」を募集しています！

応募していただいた作品は「きあらひらかわ」の紙面で紹介します。応募先は次のとおりです。

〒036-0104 平川市柏木町藤山 25-6 平川市役所 総務部総務課行政改革係

TEL0172-44-1111(内線 1353) メール gyoukaku@city.hirakawa.lg.jp